

東海道五十三対展「浮世絵の夕ネ」

2026.4.18(sat) - 5.31(sun)

■開館時間 9:00-17:00(入館は16:30まで)

■休館 月曜日、ただし5/4(月)は開館し5/7(木)休館

■観覧料 一般500円(400円)・小中高生100円(80円)

- 市内在住の70歳以上100(80)円 ■()内は30名以上の団体料金・前売り料金です(市内在住の70歳以上は団体のみ)。
- 前売券は購入した日の翌日から使用でき、当館のほか市役所じょうほうひろば・豊橋市美術館で販売しています。
- 市内在住の70歳以上の方は身分証明書をご提示ください。 ■ほの国こどもパスポートをお持ちの小中学生は無料です。
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名は無料(ミライロIDが使用できます)。

■ギャラリートーク 4/25(土)・5/23(土)14:00 当館企画展示室(当館学芸員) 要入館料

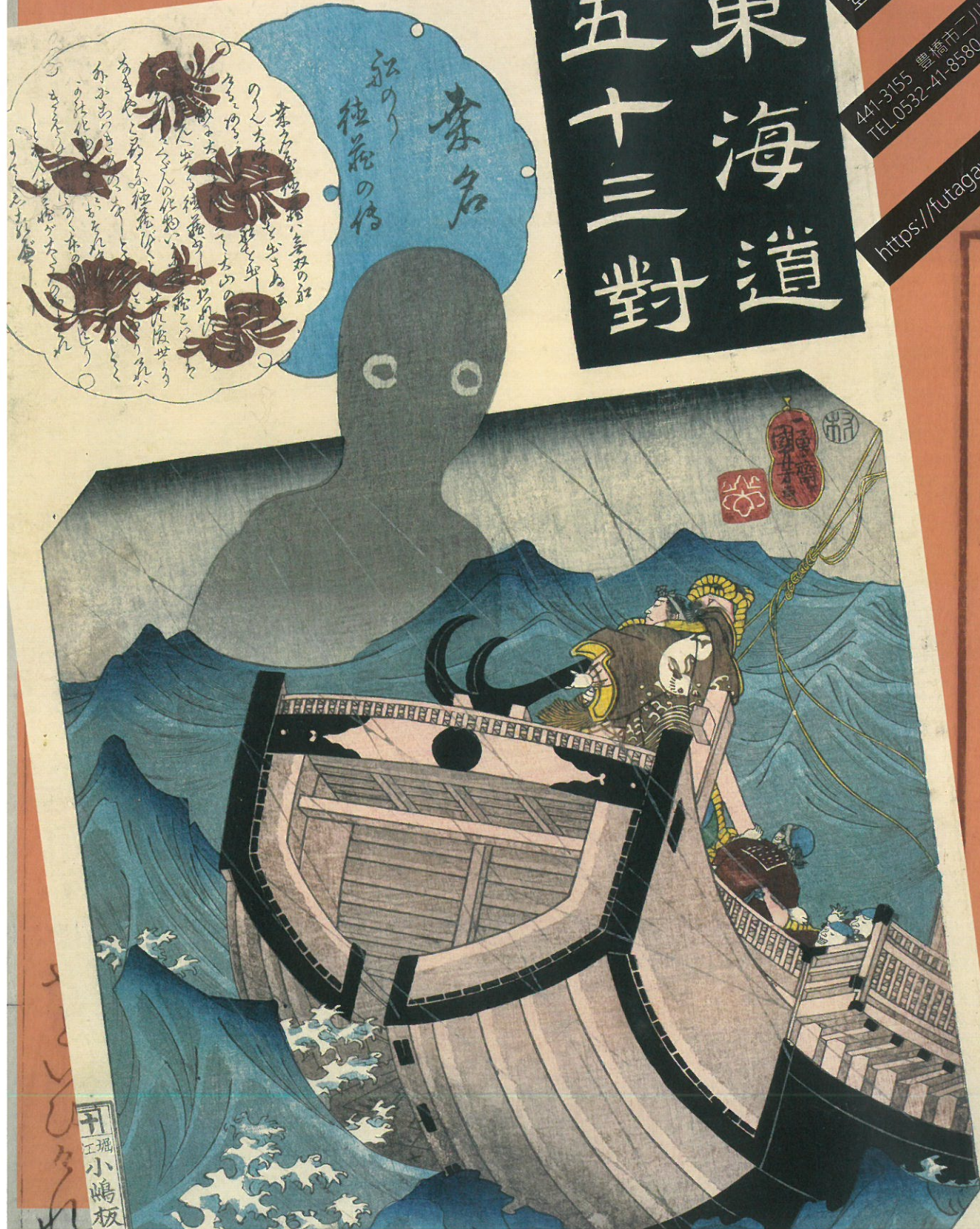
■写真 歌川国芳《東海道五十三対 桑名》弘化年間頃 当館蔵 / 《雨窓閑話》嘉永4年(1858) 個人蔵

豊橋市二川宿本陣資料館

441-3155 豊橋市二川町字中町65
TEL.0532-41-8580

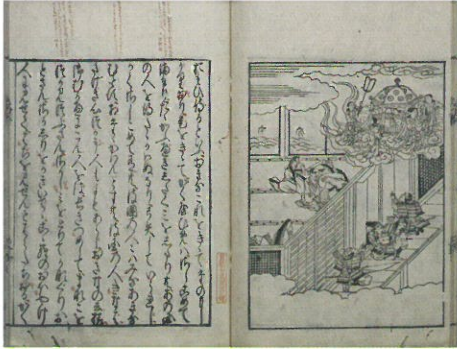
<https://futagawa-honjin.jp>

東海道 五十三対



桑名屋徳藏が、妖怪と答話の事
一或者の物語は桑名屋徳藏と云者名ある

刊
工堀小嶋板



東海道五十三対展 「浮世絵のタネ」

浮世絵《東海道五十三対》は、幕末の歌川派を代表する三代豊国・国芳・広重の3人が分担して描いた東海道揃物のひとつです。しかし、本作の主題は東海道の風景ではありません。和歌や新旧の文学作品、各地の伝説から能・浄瑠璃・歌舞伎といった芸能に至るまで、連綿と続いてきた東海道という地域・街道にまつわる文化的な積み重ねを再利用して各宿を紹介するものでした。本展では、《東海道五十三対》26点と、その画題の源泉となった書籍などをあわせて展示いたします。



■五月人形展 - 端午の節句 -

江戸から平成の様々な五月人形や兜飾り、金太郎や鯉のぼりを展示します。
会期 4/18(土) - 5/17(日)

■本陣体験講座「土人形絵付け」

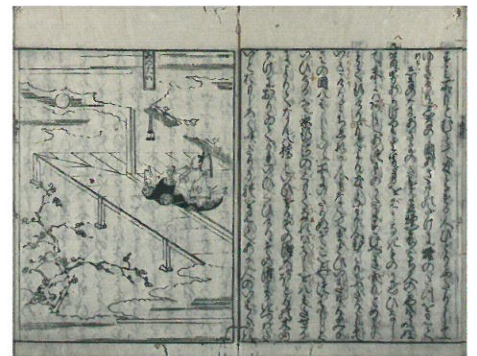
招き猫と犬の土人形に絵付けをします。
日時 4/26(日)10:00, 13:00 定員 各20名(申込順)
申込み 4/11(土)10:00から電話で
材料費 各600円

■本陣古文書講座(初級コース)

日時 5/10・24・6/7・21・7/12(日)13:30
対象 高校生以上 定員 20名(申込順)
受講料 資料代が必要 申込み 5/2(土)10:00から電話で

■本陣講座

当館学芸員2名による講座です。
日時 5/16(日)13:30 定員 30名(申込順)
受講料 入館料が必要 申込み 5/3(日)10:00から電話で



■写真 ①歌川国芳《東海道五十三対 岡部》弘化年間頃◎ ②十返舎一九《東海道中膝栗毛》江戸時代後期◎ ③歌川広重《東海道五十三対 江尻》弘化年間頃◎ ④《絵入竹とり物語》江戸時代◎ ⑤原田ちよ子《能面「小面」》現代◎ ⑥歌川豊国Ⅲ《東海道五十三対 袋井》弘化年間頃◎ ⑦歌川国芳《東海道五十三対 石部》弘化年間頃◎ ⑧歌川国芳《東海道五十三対 舞坂乃駅》弘化年間頃◎ ⑨《伊勢物語》江戸時代後期◎
◎:当館蔵 ⑤:豊橋市中央図書館蔵 ⑥:豊橋市美術博物館蔵 ⑦:個人蔵

■次回予告 江戸・京都の名所巡り 7/18(土) - 9/13(日)

441-3155 豊橋市二川町字中町65
TEL.0532-41-8580 <https://futagawa-honjin.jp>

豊橋市二川宿本陣資料館

